

東部農林事務所の農業農村整備事業プロジェクト

<東部の農業農村整備事業>

農業農村整備みらいプランの基本方針について、地域特性に配慮し、主要農産物づくりを支援する“プロジェクト”を設定し、農業農村整備事業を実施している。

プロジェクト	取 組
北駿地域の 水田整備	北駿地域では生産性向上のため、昭和 59 年からほ場整備事業を実施している。令和 7 年 3 月までに約 716ha の水田を整備し、大型機械の導入により、生産コストの縮減や担い手農家の規模拡大が進んでいる。
箱根西麓地域の 畑地整備	三島市の箱根西麓地域は、「三島馬鈴薯」や「箱根大根」に代表されるブランド野菜「箱根西麓三島野菜」の産地である。現道は狭小急峻なため、平成 22 年度から農道の拡幅改良整備や畑地かんがい施設の整備に着手しており、農産物の集出荷や灌水等における作業効率の向上を図っている。
田方平野地域の 用排水施設 整備	田方平野では水稲やハウス栽培が盛んであるが、流域内の開発による雨水流出量の増加や外水位の上昇による農地の湛水被害軽減を図るため、湛水防除事業により排水機場の設置や増設を実施して来た。近年は、機能保全計画に基づき計画的に用排水施設の補修・更新工事を行っており、施設機能の維持に努めている。また、排水機場の操作の迅速性及び操作員の安全性の向上を図るため、遠方監視制御の整備を進めている。
内浦・西浦地域の 樹園地整備	「寿太郎」に代表される「西浦みかん」の産地である沼津市の内浦～西浦地域は、急峻な地形で、農作業効率が悪い状況にあった。平成 23 年度からこれまでに農道整備を主とした 6 地区の樹園地整備事業に着手し、幹線・支線農道、畑地かんがい施設の整備や、工事残土を活用した園地の平坦化を進めている。
伊豆地域の 中山間地域 整備	伊豆市内の農地は、川沿いや山間の急傾斜地に分散しており、主に水稲・ワサビが栽培されているが、農業就業者の減少や、集落居住者の少子高齢化は、長年の課題となっている。平成 26 年度より中山間地域総合整備事業に着手し、伊豆市全域において、農道(わさび田利用のモノレール)等の整備を進めている。
企業的農業経営体の 営農戦略に対応した プロジェクト	・アグリふじおやま地区(小山町):高糖度トマト等の導入に向けた基盤整備 ・浮島北部地区(沼津市):茶園の平坦化等の基盤整備 ・長者原地区(伊豆の国市):畑地化による高収益作物導入に向けた基盤整備

主要農産物と地域づくりプロジェクト

